

参考資料 1

1. チェックリスト(ワークシート)

「地域包括ケアシステム構築の『仕組みをつくる』ために必要な5つのこと」(第1章4, p.18)を整理するために、このチェックリスト(ワークシート)をご活用ください。

大項目	小項目	内容		
情報発信と双方向のコミュニケーション	どんな情報を発信しますか			
	発信する情報をどう把握しますか			
	どのような方法で発信しますか			
	どのような団体・人々に発信しますか			
地域の目指す姿の合意形成	貴自治体が考える目指す姿はどのようなものですか			
	どのような場で合意形成を行いますか			
	どのような団体・人々に参加を呼び掛けますか			
質の高い支援・サービス実践の基盤整備	地域にどんな社会資源がありますか	すでに活用している	あるが活用していない	ない
	フォーマルサービス【法律や制度に基づくもの】			
	インフォーマルサービス【法律や制度に基づかないもの】			
	どのような方法で基盤整備を行いますか			
不足する支援・サービスの把握と解決の場づくり	地域にどんなサービスが不足していますか			
	不足するサービスをどう把握しますか			
	解決策をどのような場で検討しますか			
	どのような団体・人々に参加を呼び掛けますか			
多様な担い手の育成・サービス創出	地域にあらたにどんなサービスが必要ですか			
	どのような方法でサービス開発(支援)を行いますか			
	どのような団体・人々に支援を行いますか			

2. 我がまちの取組事例まとめシート

皆さんのまちの取組事例についても、このシートを使ってまとめてみませんか？

キーワード	
【この事例の特徴】 ▶ ▶ ▶	(地図を挿入)
地域概要	実施主体
総人口: 人 65 歳以上人口: 人(%) 75 歳以上人口: 人(%)	要介護(要支援)認定者数: 人(%) 第 期介護保険料: 円
取り組みの背景・課題認識	
・ ・	
取り組み内容	
(事業全体を表すポンチ絵を挿入)	

【

•			
•			
•			
【予算】	千円	(平成	年度)
	千円	(平成	年度)

【

•			
•			
•			
【予算】	千円	(平成	年度)
	千円	(平成	年度)

【

•			
•			
•			
【予算】	千円	(平成	年度)
	千円	(平成	年度)

【

•			
•			
•			
【予算】	千円	(平成	年度)
	千円	(平成	年度)

取り組みの経緯

平成 年

・

・



平成 年

・

・



平成 年

・

・



平成 年

・

・



平成 年

・

・



平成 年

・

・



時期
(平成 ~
年度)

時期
(平成 ~
年度)

時期
(平成 ~
年度)

時期
(平成 ~
年度)

取り組みの成果

◆ 地域に見られた変化

- ・
- ・
- ・

◆ 取り組みが活かされた個別事例

<<

>>

この事例のポイント(工夫や成功要因など)

1. 地域
 .
 .
 .

2. 自治体
 .
 .
 .

これから取り組む皆さまへ ~まず始めてみるために、この事例から得られる示唆

- ✓
- ✓
- ✓

【参考】事業推進体制・職員体制

(事業推進体制・職員体制の図を挿入)

【地域包括支援センター】	
地域包括支援センター数	か所
直営	か所
委託	か所
ブランチ数	か所
サブセンター数	か所
地域包括支援センター 職員数	人
保健師	人
社会福祉士	人
主任介護支援専門員	人
その他の専門職員	人
その他の事務職員	人
【所管課】	
()	人

【参考】URL、連絡先

- ・ 担当部署名:
- ・ ホームページ URL:
- 電話番号:

3. 参考文献

本事例集で紹介しました、地域包括ケアシステムの実践事例の中には、すでに雑誌等で広く公表されている事例もあります。一例として、広島県尾道市、埼玉県和光市の取組について、医療・介護関係の雑誌で取り上げられている記事を紹介いたします。

【尾道市の取組事例に関する記事(例)】

記事名	雑誌名
地域包括ケアをどのように具体化するのか：イギリスの Clinical commission group、フランスの保健ネットワーク Reseau de la sante、日本の尾道市医師会モデルとの比較から	社会保険旬報(2525), 10-16, 2013-03-11
施設の安心機能を地域に分散させて住民を支える--アザレアンさなだ総合施設長 宮島渡氏 (特集 実践例にみる「地域包括ケア」--尾道市医師会とアザレアンさなだの実践)	介護保険 (183), 17-19, 2011-05
主治医機能とカンファレンスで住民を支える--尾道市医師会 会長 片山壽氏 (特集 実践例にみる「地域包括ケア」--尾道市医師会とアザレアンさなだの実践)	介護保険 (183), 14-17, 2011-05
地域リハビリテーション体制の現状と尾道市御調町における地域連携・地域ケアについて (特集 地域完結型のリハビリテーションの実践)	Monthly book medical rehabilitation (102), 39-44, 2009-02
地域包括医療をめざす公立病院の現状と課題--尾道市公立みつき総合病院の現状を中心として (特集 超高齢社会の地域医療制度の展望)	公衆衛生 71(11), 914-919, 2007-11

【和光市の取組事例に関する記事(例)】

記事名	雑誌名
インタビュー 和光市保健福祉部長 東内京一氏に聞く予防給付の地域支援事業への移行では環境整備が必要 (特集 次期制度改正の論点をめぐって)	介護保険情報 14(8), 13-17, 2013-11
モデル埼玉県和光市 ケアプランと政策結ぶ 保険料アップ抑制の効果も (特集 保険者を味方にすれば地域ケア会議が変わる)	月刊ケアマネジメント 23(8), 8-13, 2012-08
仕事に役立つ!実務解説 効果的な「地域ケア会議」の進め方とは--埼玉県和光市での取り組み	介護保険 (181), 52-57, 2011-03
埼玉県和光市 介護予防への参加意欲を刺激する「電子介護予防手帳システム」(介護予防のページ(第 47 回))	介護保険情報 8(11), 66-69, 2008-02
地域包括支援センターを創る(1)和光市(埼玉県) すでに実施してきた包括的支援事業 準備は万全、機能の拡充を目指す	ケアマネジャー 8(4), 66-68, 2006-04
特別対談 食の自立支援がつくる介護予防のまち--埼玉県和光市の取り組み (Special Feature 元気な人づくり大作戦--介護予防のマネジメント)	月刊ケアマネジメント 16(4), 18-26, 2005-04
食の自立支援--和光市における取り組み (特集 2 介護予防を推進するために(PART2))	介護保険情報 4(10), 62-65, 2004-01

【その他の地域包括ケアシステムに関する資料】

また、下記の書籍には、本事例集で紹介しました取組事例のいくつかが掲載されていますので、ご参照ください。

- 高橋紘士編『地域包括ケアシステム』(オーム社、2012年)
 - ・ 2章 地域包括ケアのスタートと展開 ～公立みつぎ総合病院における在宅ケアによる寝たきりゼロ作戦～
 - ・ 5章 施設機能の地域展開からのアプローチ ～高齢者総合ケアセンターこぶし園の取組～
 - ・ 7章 訪問看護が切り開く地域包括ケア ～暮らしの保健室の取組～
 - ・ 10章 ターミナルケアと包括的支援 ～ホームホスピスカあさんの家のかたち～
 - ・ 11章 認知症ケアで必要とされる地域包括ケア
～若狭町における認知症早期発見システム～
 - ・ 12章 生活困窮者の包括的支援システム ～ふるさとの会居住支援～
 - ・ 13章 エリアマネジメント機関としての地域包括支援センター
～青梅市地域包括支援センター～
 - ・ 14章 地域包括ケアの確立を目指した介護保険事業計画を考える
～和光市長寿あんしんランドデザイン～

- 高橋紘士・武藤正樹編著『地域連携論 -医療・看護・介護・福祉の協働と包括的支援-』(オーム社、2013年)
 - ・ 6章 地域医療と介護のシステム化 ～尾道市医師会方式の理論と実践～
 - ・ 7章 急性期病院の地域連携機能強化の試み ～愛媛大学病院総合診療サポートセンター創設への実践～
 - ・ 8章 自治体における地域連携と地域ケア会議 ～和光市の実践～
 - ・ 12章 病院が取り組む地域包括ケアと地域連携 ～地域包括医療・ケア局を設置した南砺市の取組み～
 - ・ 14章 小規模多機能型居宅介護拠点が進める生活継続のための地域連携
～鞆の浦・さくらホームの実践～
 - ・ 15章 地域連携パスから地域連携プラットフォームへ ～三方よし研究会の展開～

参考資料2

1. 事例選定および事例集作成方法

本事例集の作成にあたっては、以下の手順に基づき、掲載する事例の選定および調査を実施しました。

STEP1: 厚生労働省より各都道府県・指定都市・中核市に対して事例提供を収集

まず、平成 25 年 3 月 11 日「全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議」において、厚生労働省より、各都道府県・指定都市・中核市に対して、地域包括ケアシステムの構築に向けた好事例の提出依頼を行いました。その結果、47 都道府県 408 地域(市区町村・広域連合・都道府県)から、事例の提出がありました。

STEP2: 検討委員会による検討により掲載事例を選定

STEP1 で収集された事例に、検討ワーキンググループ委員の推薦による地域包括ケアシステムの構築に関する事例を追加し、専門的見地から事例集に掲載する事例の検討を行いました。その結果、本事例集に掲載する 50 事例の選定がされました。

STEP3: ヒアリング調査、情報提供フォーマットによる追加情報収集

なお、50 事例の中で、検討ワーキンググループでの検討により取組内容の総合性等に鑑み、総合的な取組が実施されていると考えられた 10 事例については、ヒアリング調査を実施し、詳細な把握を行いました。

また、その他の 40 事例については、STEP1 で提出があった資料および情報提供フォーマットによる追加情報収集を実施し、詳細な把握を行いました。

調査対象	調査方法	調査時期
10 事例の対象自治体の担当課 および関係団体	ヒアリング調査	平成 25 年 12 月～ 平成 26 年 1 月
40 事例の対象自治体の担当課 および関係団体	情報提供フォーマットのメール 送付・回収	平成 25 年 12 月～ 平成 26 年 2 月

STEP4: 事例集の作成

ヒアリング調査および情報提供フォーマットによる追加情報収集で把握した内容に基づいて、事例集を作成しました。

なお、ヒアリング調査を実施した 10 事例については、調査結果の内容を分析し、再構成して原稿を作成しました。また、情報提供フォーマット等による追加情報収集を実施した 40 事例については、基本的に提供があった情報に基づいて、原稿を作成しました。

2. 開催要項

(1) 委員一覧

【検討ワーキンググループ 委員】

◎ 高橋 紘士	国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 教授
諏訪 徹	日本大学文理学部 教授
田中 雅子	日本介護福祉士会 名誉会長
立木 孝幸	岐阜県居宅介護支援事業協議会 会長
中澤 伸	社会福祉法人 いきいき福社会 理事
八田 冷子	鹿児島県保健福祉部介護福祉課 参事

◎座長

【オブザーバー】

朝川 知昭	厚生労働省老健局振興課 課長
篠田 浩	厚生労働省老健局総務課 課長補佐
川部 勝一	厚生労働省老健局振興課 課長補佐
岡島 さおり	厚生労働省老健局振興課 地域包括ケア推進官 兼 課長補佐
山田 大輔	厚生労働省老健局振興課 地域包括ケア推進係長
茅野 泰介	厚生労働省老健局振興課 地域包括ケア推進係

【事務局】

矢野 勝彦	(株)日本総合研究所 総合研究部門 公共コンサルティング部 上席主任研究員
齊木 大	(株)日本総合研究所 総合研究部門 公共コンサルティング部 主任研究員
渡辺 康英	(株)日本総合研究所 総合研究部門 公共コンサルティング部 主任研究員
岡元 真希子	(株)日本総合研究所 総合研究部門 公共コンサルティング部 副主任研究員
○ 青島 耕平	(株)日本総合研究所 総合研究部門 公共コンサルティング部 研究員
山崎 香織	(株)日本総合研究所 総合研究部門 公共コンサルティング部 研究員
徳村 光太	(株)日本総合研究所 総合研究部門 公共コンサルティング部 研究員

○主担当

(2) 検討ワーキンググループの開催日程・主な議題

日時・場所	議事
第1回検討ワーキンググループ 日時:平成25年9月30日(月) 10時00分~12時00分	1. 事業実施計画について 2. 本事例集成における事例選定の視点について 3. ヒアリング調査実施計画(案)について 4. 今後の進め方について
第2回検討ワーキンググループ 日時:平成25年12月27日(金) 18時00分~20時00分	1. 事例の選定結果について 2. ヒアリング調査結果について 3. 事例集成の構成について 4. 事例公表 WEB の構成について 5. 今後の進め方について
第3回検討ワーキンググループ 日時:平成26年1月21日(火) 13時30分~15時30分	1. 事例集成(案)について 2. 今後の進め方について
第4回検討ワーキンググループ 日時:平成26年3月3日(月) 16時30分~18時30分	1. 事例集成(案)について 2. 今後の展開について